

項目	確認事項	届出内容
基本情報	大学等名1(代表大学等)	香川大学
	大学等名1(代表大学等)※カナ	カガワダイガク
	大学等名2(連携大学等)	
	科目名	インターンシップ実習
	学部・研究科等名	農学部
	担当教職員名・役職	富田ゆかり・事務課課長補佐
	受講者数(H28年度実績)※インターンシップ参加者数	20
	受入企業等数	12
	受入企業等名	(有)広野牧場 等
	インターンシップの分類	7.中小企業でのインターンシップ,8.地元企業・経済団体や地方公共団体等との協働による地域密着型のインターンシップ
	上記以外のインターンシップの分類(記述欄)	
要素①	1-1.当該インターンシップは、就業体験を伴うものになっていますか。	1.はい
	1-2.該当する就業体験	1.企業等における業務への従事,2.企業等における課題の解決(例:ワークショップ、PBL型プログラム、課題解決ワーク、課題事例研究等)
	1-2.以外での就業体験の内容(記述欄)	
	1-3.上記回答内容に関する詳細(記述欄)	民間企業における農業体験、畜産体験、研究補助、商品管理、食品加工実習、官公庁における農業体験、試験研究、食品分析、行政事務
要素②	2-1.当該インターンシップを正規の教育課程の中に位置付け、シラバス等において、インターンシップの実施目的や期待する教育的効果を明確にしているなど、体系的なプログラムとして単位認定が行われていますか。	1.はい
	2-2.該当するインターンシップの内容	2.当該インターンシップは、キャリア教育科目として実施している,3.当該インターンシップは、専門教育科目として実施している,6.当該インターンシップは、選択科目として実施している,8.当該インターンシップは、休業期間中に実施している
	2-2.以外で実施しているインターンシップの内容(記述欄)	
	2-3.当該インターンシップを実施する年次(記述欄)	3年次
	2-4.当該インターンシップで付与される単位数(記述欄)	2単位
	2-5.上記回答内容に関する詳細(記述欄)	8月～9月の夏季休暇中実施、3年次「コース専門科目－自由科目」
要素③	3-1.インターンシップの実施前の学生・企業双方との目標設定や目的のすり合わせや、実施後の振り返り等を行うなどの適切な学修の時間が設けられていますか。また、インターンシップの教育的効果が発揮されるようインターンシップ期間中に適切なモニタリングを実施していますか。	1.はい
	3-2-1.該当する事前学習の内容	1.学生に対して、社会人としてのマナーや守秘義務の遵守、パソコンの使用方法を身に付ける授業等を行っている,2.学生が受入企業の事業内容等に関する事前の調査・研究を行っている,3.学生に対して、インターンシップにおける成果目標の確認や行動計画等の策定を行っている,4.学生に対して、正規の教育課程としてのインターンシップの実施目的や期待する教育的効果の理解を促している
	3-2-1.以外で実施している事前学習の内容(記述欄)	
	3-2-2.該当する事後学習の内容	1.日報やレポート等を用いて、現場での体験の振り返りを行っている,3.振り返りを実施し、成果目標等の達成について確認を行っている
	3-2-2.以外で実施している事後学習の内容(記述欄)	
	3-2-3.該当するモニタリング	
	3-2-3.以外で実施しているモニタリングの内容(記述欄)	
	3-3-1.事前学習の内容に関する詳細(記述欄)	1.就職ガイダンスにおいてインターンシップマナー講座を開催し、受講させている。2.前年度以前の「インターンシップ報告書」の閲覧により、受入企業の事業内容等に関する事前の調査・研究を行っている。3.事前研修で正規の教育課程としてのインターンシップの実施目的や期待する教育的効果の理解を促している。
	3-3-2.事後学習の内容に関する詳細(記述欄)	1.インターンシップハンドブックの日誌及び履修報告書を作成し、毎日、自己確認を行っている。2.インターンシップハンドブックの感想・意見・提案等を記入し、体験の振り返りを行っている。3.事後報告会において、成果目標等の達成について確認を行っている。
	3-3-3.モニタリングの内容に関する詳細(記述欄)	
要素④	4-1.インターンシップの教育的効果を定量的・定性的に把握できる手法・仕組みを取り入れていますか。	1.はい
	4-2.該当する教育的効果を測定する仕組み	3.インターンシップによる到達度を具体的に示した評価基準(例:ルーブリック)を整備し、学生及び教員で共有している
	4-2.以外で実施している教育的効果を測定する仕組み(記述欄)	
	4-3.上記回答内容に関する詳細(記述欄)	1.受入企業等に「インターンシップ実施状況評価通知書」を作成してもらう。2.受入企業等作成の「インターンシップ実施状況評価通知書」と事後発表会をもとに評価を点数化している。
要素⑤	5-1.一定期間のまとまりのある連続した5日間以上のインターンシップの実施期間を確保していますか。	1.はい
	5-2.該当する実施期間	1.連続した5日間以上の実施期間を確保している
	5-2.で「1.連続した5日間以上」を選択した場合(記述欄)	5～10日間
	5-2.で「2.事前・事後学習を合わせて5日間以上」を選択した場合(記述欄)	
	5-2.で「3.複数の企業等を合わせて5日間以上」を選択した場合(記述欄)	
	5-2.以外の実施期間の内容(記述欄)	
	5-3.上記回答内容に関する詳細(記述欄)	単位認定できるインターンシップの実施期間は5日間以上と定めている。

要素⑥	6-1.大学等と企業の双方が関与し合い、学生に対する教育的効果の最大化に努めているなど、大学等と企業が協働してプログラムを設計していますか。	1.はい
	6-2.該当する大学等と企業の協働取組の内容	1.企業や産業界にとっての意義やメリット、必要な成果等を考慮し、企業と協働してインターンシッププログラムを設計している。4.受入企業等も、インターンシップ中の学生に対する評価を実施している。5.企業等と協働して作成した評価シートを活用し、具体的な効果を数値化して測定している
	6-2.以外で実施している大学等と企業の協働取組の内容(記述欄) 6-3.上記回答内容に関する詳細(記述欄)	1.実践型インターンシップとして、教員の指導のもと、企業の抱える問題を学生が解決する形のインターンシップを実施している。2.受入企業等に「インターンシップ実施状況評価通知書」を作成してもらう。3.受入企業等作成の「インターンシップ実施状況評価通知書」と事後発表会をもとに評価を点数化している。
	7.上記①～⑥で回答した各要素の内容について、詳細が記載されているシラバスなどの資料が閲覧できる大学等のウェブサイトのURL	https://www2.st.kagawa-u.ac.jp/Portal/Public/Syllabus/DetailMain.aspx?lct_year=2017&lct_cd=464071
問い合わせ先	大学等名	香川大学
	担当部署名	農学部
	担当者役職名	事務課課長補佐
	担当者氏名	富田ゆかり
	電話番号	087-891-3006
	メールアドレス	ajimsenm2@jim.ao.kagawa-u.ac.jp